

令和7年度 地域循環共生圏づくり支援体制構築事業

中間支援ギャザリング資料（中間支援振り返りシート）

活動テーマ

『ゼロカーボン・ローカルSDGsに関するPF形成』

活動団体の活動地域：滋賀県湖北地域

活動団体名：ともすラボ

中間支援主体名：エネシフ湖北

中間支援主体としての獲得目標と達成状況

■ 中間支援主体としての獲得目標 【R7年度当初目標】

- ・ 継続的に様々な人や団体を繋ぐ場の設定
- ・ 「見える化」を安定的に行える団体となること
- ・ アプローチをメソッドとして確立すること

■ 中間支援主体としての獲得目標に対する振り返り（目標達成状況）

- ・ 環境、福祉、観光などさまざまな分野で活動する住民に計3回ヒアリングを実施し、聞き取った内容について、構造を整理し、可視化していくツールである「ステークホルダーシナリオ」を活用。
- ・ 作成したステークホルダーシナリオをたたき台として共有し、参加者同士で意見交換する「ステークホルダーミーティング」を実施し、内容の確からしさを確かめながら、「この課題とこの取り組みはつながっているのでは」「背景にはこんな要因もあるのでは」と、関係性や構造について意見交換を実施。
- ・ 今年度はステークホルダーシナリオや、ステークホルダーミーティングを試行するところまで実現できた。

中間支援機能ごとの振り返り

チェンジエージェント機能		R7獲得目標（R7年度当初設定） 高めたい機能（◎/○）とその理由		現状の自己評価（R7年度末時点） 自己評価（◎/○/▲）とその理由	
変革促進	物事を整理する	◎	全体構造を可視化することに取り組みたい	◎	ステークホルダーシナリオを試行できた
	意味づける	○	活動の意義を確認することが重要	○	適宜協議を行った
	癒しとなる				
	見通しをつける				
プロセス支援	話を聞く	○	課題を聞き出すことが重要	○	インタビューを実施
	場を開く	◎	人が集う場づくりが重要	○	最低限、ステークホルダーMTGの場を作れた
	喝を入れる				
	現在地を確認する				
資源連結	新しい人を入れる	◎	人の流動性が重要	◎	新しく活動に参加する人も生まれた
	事例を紹介する				
	引き出す				
	拡散する	○	情報発信が重要	○	最低限ウェブでの発信ができた
問題解決提示	文字や図に落とす	◎	可視化ツールを開発したい	◎	ステークホルダーシナリオを試行できた
	問いを立てる				
	会議を進行する				
	落としどころを探る				
その他	※必要に応じて追加				

今後の中間支援主体のありたい姿

■ 中間支援主体としての本事業終了後の地域づくりへの貢献

【R7年度当初目標】

- ・ 確立したメソッドを他地域でも展開していくこと
- ・ 滋賀県・近畿圏で長浜でのアプローチを広げ、人と人を繋ぎ、見える化し、事業のタネを作っていくような取組を広げていきたい。

■ 地域づくりに貢献していくために、今後、どうなりたいか

目指す姿	目標達成に向けた、次年度の行動	チェンジエージェント機能での分類
・ 地域内外のプレイヤーや専門家とのつなぎ役を担うこと。	・ 引き続き、地域内外のプレイヤーや専門家がつながれる場を作る。	資源連結（新しい人を入れる）
・ ステークホルダーシナリオを活用した地域の課題・プレイヤーの見える化をメソッドとして確立させ、他地域での展開にもつなげられるように整理し、湖北地域のローカルSDGsに関するプラットフォームを形成するとともに、他地域での地域循環共生圏の構築支援も可能にする。	・ メソッドをさらにブラッシュアップし、地域での実践に活用できるように整理していく。	変革促進（物事を整理する）

■ 地域づくりに貢献していくために、外部地域や関係者と連携や協力したいこと

メソッドの活用や実装に向けて、テクノロジーや資本力のある外部団体や、課題にまさに直面している地域内の主体との連携をさらに深めていきたい。